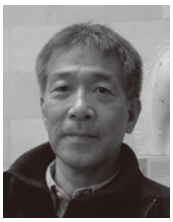
神奈川県立近代美術館 葉山・連続講演会（県立機関活用講座）

「こころ」と「かたち」―ふたつの大戦の間で

神奈川県立近代美術館で開催する「県立機関活用講座」では毎年、美術、芸術のみならず、文学、歴史、社会科学など、多領域で活躍する一流の講師をお招きして、今話題のテーマ、新鮮なトピックを提供しています。
本年のテーマは、日本近代史と「戦争」です。近代日本の歴史は「戦争」の影の下にありました。そうした時代の中で、人々はどのような心情を抱き、どのようなかたちにその記憶を刻んだのでしょうか。今私たちはそこから、何を学ぶことができるのでしょうか。「戦争」に対峙したひとびとの「こころ」と「かたち」を、歴史、美術、文学、思想、大衆文化、国際関係などさまざまな視点から、気鋭の学者、研究者たちが論じます。

＊講演タイトルはすべて仮題のため、変更の場合があります。



第 1 回　9 月 26 日（日）
「戦争を記憶する〈かたち〉―記念碑・凱旋門・パノラマ」
木下直之　東京大学教授、文化資源学。著書に『美術という見せ物―油絵茶屋の時代』（サントリー学芸賞）、『世の途中から隠されていること―近代日本の記憶』、『わたしの城下町』など。

第 2 回　10 月 17 日（日）
「デモクラシーと戦争のあいだで―1920 年代から 30 年代へ」
成田龍一　日本女子大学教授、日本近現代史。著書に『近代都市空間の文化経験』、『「歴史」はいかに語られるか―1930 年代「国民の物語」批判』、『大正デモクラシー』など。

第 3 回　10 月 31 日（日）
「総動員体制と〈ファスト社会〉―メディアにおける戦中と戦後の連続性から考える」
佐藤卓己　京都大学准教授、メディア史。著書に『「キング」の時代―国民大衆雑誌の公共性』（サントリー学芸賞）、『言論統制―情報官・鈴木庫三と教育の国防国家』など。

第 4 回　11 月 21 日（日）
「上海と東京―中日の美術の架け橋」
呉孟晋　京都国立博物館研究員、中国近代美術史。論文に「民国期中国におけるシュルレアリスムの夢と現実―中華独立美術協会の『超現実主義』について」など。

第 5 回　12 月 12 日（日）
「反戦の文学、映画は本当に存在するのか」
ロジャー・パルバース　東京工業大学教授、同大学世界文明センター長。米国出身のオーストラリアの作家、演出家、劇作家。映画「戦場のメリークリスマス」の助監督。日本語、日本文学にも造詣が深く、井上ひさしの仕事を英訳。

時　　間：各回　午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
会　　場：神奈川県立近代美術館 葉山　講堂
受 講 料：各回 1,000 円（各受講時に現金でお支払いください。）
定　　員：各回 70 名（要申込）。申込みが定員を超えた場合は抽選になります。
申込方法：受講希望の回、住所、氏名、電話番号、FAX 番号、メールアドレスをお書きの上、メール・FAX・往復はがきいずれかでお申込みください。（お申込み後 10 日以内に、申込受付の連絡を差し上げます。）
申 込 先：〒240-0111　三浦郡葉山町一色 2208-1　神奈川県立近代美術館 管理課「県立機関活用講座」係
FAX 番号　046-875-2574
メール　public@moma.pref.kanagawa.jp
申込締切：各開催日の 10 日前まで

■美術館の最新情報、および展覧会情報は、当館ホームページをご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp

■お問い合せ先　神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2574

The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館